

平成17年度京都大学大学院工学研究科原子核工学専攻修士課程入試  
における筆記試験科目の電卓使用指示の不徹底について

[公表に当たって]

このたび、工学研究科原子核工学専攻修士課程入試において筆記試験科目の電卓使用指示に不徹底がありました。

この事実を厳粛に受け止め反省し、再発防止のためにもここに公表します。

[概略説明]

(1) 試験日および試験科目

平成16年8月23日(月) 英語、工学基礎、専門

平成16年8月24日(火) 口頭試問、面接

(2) 募集人員 24名、出願者数 28名、受験者数 28名

(3) 工学基礎の試験時間中に、受験生から「電卓使用の可否」に関する質問があり、試験監督者は使用可の返事を質問者に行った。

(4) 工学基礎の試験終了後、出願者に配付した別途指示書類「原子核工学専攻入学出願者へ」を調べたところ、工学基礎に関する電卓準備の指示が欠落していたことが判明した。

1. 一部記載漏れの内容

原子核工学専攻の出願者に対して、受験票交付時(8/20)に交付した別途指示書類「原子核工学専攻入学出願者へ」の中で、「工学基礎および専門試験では、電卓の準備をすること」と表記するところを、「工学基礎および」が欠落していた。

なお、募集要項の原子核工学専攻修士課程入試に関する「出題および解答に関する注意事項」では、工学基礎と専門試験では電卓の準備をすることを明記している。

2. 措置内容

当該専攻では、次の措置を行った。

①当該問題(3問中の1問目)を全員満点として受験生が不利益を被らないように措置することとした。

②受験生28名全員に対して面接終了前に上記の内容の措置を口頭にて伝えた(特に質問などは無し)。

3. 今後の対応

発生の原因を検証し、再発防止のためチェック方法の改善等の対策を講じることとした。

平成16年9月1日

京都大学大学院工学研究科